

ほげげの体験ルポ

VOLUME 10

「小麦脱穀体験編」

貴重な梅雨の晴れ間

本日は「小麦の脱穀体験」が出来るといふことで

「泉の木林」にある「郷土民家園」にやってきました

脱穀どころか小麦さえも初めて見るみげちゃん

「へーこれが小麦なんだ！粉じゃなんだね」

「粉にする」

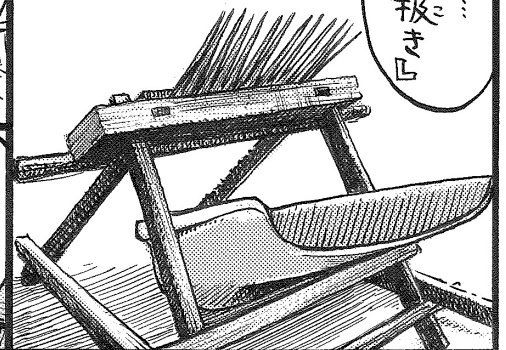
昔の脱穀機がうつろいがあるね

「さーさーやっせーもらおう！ミト」

「今回は紹介するものが多すぎてダイジェストで一気に説明します！」

「ひとつめは千歯極き」

江戸時代に登場
大和地域では大正時代まで使用されていたろう

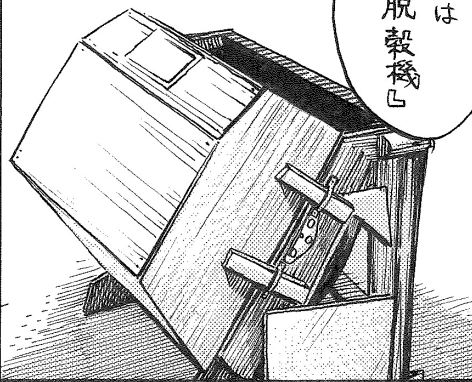


「でも取れた時は気持ちよかったよ!!」

「音もよかったよね！」

「ひとつめは足踏み脱穀機」

明治時代末期に発明
千歯極きの約8倍のスピード!!

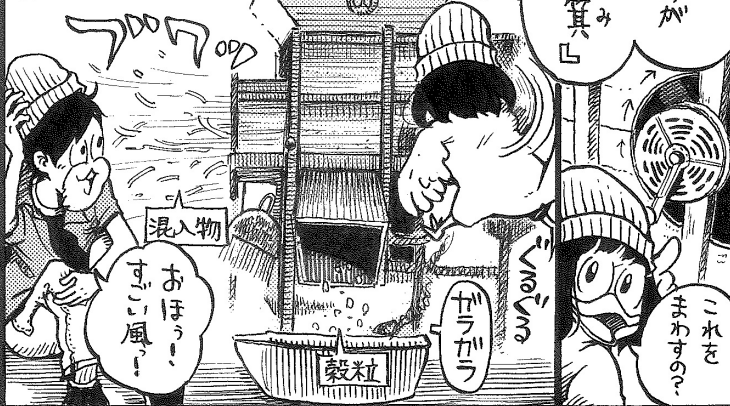


「足踏みの板を踏むと振き胸がまわる仕組みだったね」

「みげはこれがいちばん楽しかった!!」

「おはは」

「ハンドルを回して内部の風車で風を起すと、藁くずなどの軽い混入物が吹き飛ばされ、質の良い穀粒が出てくる↓」



「そしてみつめが『唐箕』」

「これをまわすの?」

「ガラガラ」

「おほー、すごい風!」

「見た目もカラクリ感すごいね!」

「カラクリ?」

「最後に実をすりつぶして小麦粉にしたね」

「ゴリゴリした!!」

「白い粉になた!!」

「今では手軽に食へられるパンやうどんもみげがその一粒子も!」

「一粒子も!」

「昔は小麦粉を作るだけでもこんな大変だったんだ」

「と長らく体験してた」